



# 基礎から理解!

# サステナブルファイナンス

菊池理恵子

日本格付研究所  
サステナブル・ファイナンス評価本部  
評価部部長

まずはSDGsに関連する用語、およびサステナブルファイナンスの種類や最近の傾向といった基本を解説する。

1

押さえておきたい用語・概念

## SDGsとESGの違いや共通する概念を理解しよう

こ

こ数年、金融マーケットでは新たな資金調達概念として「サステナブルファイナンス」が注目され、残高を大きく伸ばしている。そのサステナブルファイナンスについて見ていく前に、関連する用語の意味を説明していく。

こ

皆さんも、新聞、テレビなどのメディアで「SDGs」「ESG」「サステナビリティ」というフレーズを目にすることが増えてきたと思われる。これらはすべてサステナブルファイナンスと深いつながりのある概念なので、しっかり理解しておこう。

## SDGsは全世界の人の共通目標

①SDGs

SDGsは、「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」の略称だ。これは世界のリーダーが2015年9月の国連サミットで採択した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた17の目標を指す。16年1月1日に正式に発効された。今後15年間で、先進

国も途上国も含むすべての人に普遍的に適用されるこれらの目標に基づき、各国はその力を結集し、あらゆる形態の貧困に終止符を打ち、不平等と闘い、気候変動に対処しながら、誰も置き去りにしないことを確保するための取組みを進めていく。いわば、世界全体で達成を目指す目標である。SDGsの17の目標は、すべての人の健康的な生活、平等、教育環境などの保障を目的としており、各目標は世界



②ESG  
ESGはEnvironment (環

境)、Social (社会)、Governance (企業統治) の頭文字を取った言葉だ。ESGの言葉の起源は、06年に当時の国

連事務総長コフィー・アナン氏が発表した「責任投資原則 (PRI)」の中で、投資判断の新たな観点として導入されたことにある。具体的には、企業が次のような施策に取り組むことを促している。

- ⑦環境：二酸化炭素の削減、資源循環、海洋中のマイクロプラスチック削減といった環境問題対策
- ⑧社会：ダイバーシティ、ワーク・ライフ・バランス、サプライチェーンにおける人権問題の解決
- ⑨企業統治 (ガバナンス)：不祥事の回避、リスク管理のための情報の開示
- ⑩は、主に民間企業が本腰を入れて取り組むべき課題であり、企業は今後、経営や企業価値向上という面で環境・社会・企業統治に配慮していくことが重要になっていく。

## 「持続可能」が共通のキーワードに

③サステナビリティ  
サステナビリティ (Sustainability: 持続可能性) は、様々な物事を長期的な視野でとらえ、持続可能な状態に導くことであり、SDGsやESGにおいて重視されている概念だ。

例えばSDGsは、「持続可能」でより良い世界を目指すために定められた目標となっている。同様にESGは主に民間企業に対し、目先の利益を追求あまりに環境や社会問題を軽